



# 2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ミルボン

上場取引所 東

コード番号 4919 URL <http://www.milbon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 村井 正浩

TEL 03-6478-6301

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けWeb説明会)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	10,340	7.3	1,195	20.1	1,167	28.6	882	24.4
2022年12月期第1四半期	9,635		1,496		1,633	8.7	1,166	6.9

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,052百万円 (41.2%) 2022年12月期第1四半期 1,788百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	27.13	
2022年12月期第1四半期	35.89	

(注) 前前期首より従来営業外費用としていた売上割引を売上高から控除しております。そのため、売上高及び営業利益の前年同期増減比較において誤認を与える可能性があると判断し、前期の売上高及び営業利益の対前年同四半期増減率については記載をしております。(経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は変更ありません。)なお、前々期数値を前期と同様の方法で算定した場合、前第1四半期の売上高は9.1%増、営業利益は1.4%増となります。詳細については前期の決算説明資料をご覧ください。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	50,587	43,537	86.1
2022年12月期	52,760	43,991	83.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 43,537百万円 2022年12月期 43,991百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		40.00		46.00	86.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		40.00		48.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	8.8	8,300	9.9	8,250	5.4	5,800	4.0	178.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	33,117,234 株	2022年12月期	33,117,234 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	591,637 株	2022年12月期	591,511 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	32,525,662 株	2022年12月期1Q	32,511,104 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和を受け、経済活動の正常化が進んだことを背景に緩やかに持ち直しました。先行きについては、物価上昇やウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引締めによる景気後退懸念などにより不透明な状況が続く見通しです。

このような中、当社グループは「本質的な社会・生活者視点での“プロフェッショナル価値”を生み出し、グローバルメーカーとしての企業体を創造し、アジアNo.1、世界ベスト5をめざす」を掲げた、中期事業構想

(2022-2026)を進めています。

2年目となる2023年度は、スマートサロンの展開、パナソニックとの協業商品の発売、ビューティヘルスケア事業の始動など、新たなサロンのあり方を提案するビューティプラットフォーム構想実現に向けた重要施策を遂行します。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、103億40百万円（前年同期比7.3%増）となりました。この主な要因は、ヘアケア用剤において、プレミアムブランドの「オージュア」、「グローバルミルボン」の売上が順調に推移し2桁成長を達成したこと、染毛剤において、昨年発売した「エノグ」が引き続き堅調に推移し、海外において、韓国の売上が好調に推移したことによるものです。

利益面においては、原材料価格の高騰などによる売上総利益率の低下、行動制限の緩和により営業活動が活発化したことによる販売促進費、旅費交通費などの増加により、営業利益は11億95百万円（同20.1%減）、経常利益は11億67百万円（同28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億82百万円（同24.4%減）となりました。

品目別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

(品目別売上高)

(単位：百万円)

品目	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
ヘアケア用剤	5,333	55.4	5,969	57.7	636	11.9
染毛剤	3,800	39.4	3,922	38.0	122	3.2
パーマネットウェーブ用剤	314	3.3	301	2.9	△13	△4.4
化粧品	137	1.4	126	1.2	△10	△7.7
その他	49	0.5	20	0.2	△28	△58.0
合計	9,635	100.0	10,340	100.0	705	7.3

(国内海外別売上高)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
国内売上高	7,249	75.2	7,659	74.1	410	5.7
海外売上高	2,385	24.8	2,681	25.9	295	12.4
合計	9,635	100.0	10,340	100.0	705	7.3

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して21億73百万円減少の505億87百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して25億35百万円減少の241億62百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が33億58百万円、受取手形及び売掛金が6億95百万円それぞれ減少し、商品及び製品が10億72百万円、原材料及び貯蔵品が3億52百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して3億62百万円増加の264億24百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比較して17億41百万円減少の62億54百万円となりました。主な変動要因は、未払金が16億60百万円、未払法人税等が10億1百万円それぞれ減少し、買掛金が7億27百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して22百万円増加の7億94百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して4億53百万円減少の435億37百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が6億22百万円減少し、上場株式の時価評価による評価益の増加に伴い、その他有価証券評価差額金が1億4百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の83.4%から86.1%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の1,352円52銭から1,338円57銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間において概ね計画通りに進捗したことにより、前回予想(2023年2月14日発表)からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,300,053	8,942,049
受取手形及び売掛金	5,255,686	4,559,742
商品及び製品	6,319,121	7,391,808
仕掛品	39,927	80,296
原材料及び貯蔵品	1,999,103	2,351,816
その他	784,924	837,135
貸倒引当金	△185	—
流動資産合計	26,698,631	24,162,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,014,115	9,098,724
機械装置及び運搬具(純額)	3,082,059	2,972,535
土地	6,452,228	6,454,230
建設仮勘定	453,754	654,809
その他(純額)	817,742	923,322
有形固定資産合計	19,819,899	20,103,622
無形固定資産	1,902,217	1,911,136
投資その他の資産		
投資有価証券	1,775,734	1,925,753
長期貸付金	7,425	13,014
退職給付に係る資産	56,180	54,004
繰延税金資産	826,583	727,596
その他	1,719,802	1,735,357
貸倒引当金	△46,087	△46,087
投資その他の資産合計	4,339,639	4,409,639
固定資産合計	26,061,755	26,424,398
資産合計	52,760,387	50,587,247
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,133,259	1,861,236
未払金	4,022,247	2,361,632
未払法人税等	1,334,496	332,593
賞与引当金	591,582	459,665
その他	914,619	1,239,453
流動負債合計	7,996,205	6,254,580
固定負債		
退職給付に係る負債	10,628	10,794
繰延税金負債	610	613
資産除去債務	643,317	664,656
その他	117,875	118,777
固定負債合計	772,431	794,842
負債合計	8,768,636	7,049,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	274,537	274,610
利益剰余金	41,875,487	41,252,576
自己株式	△2,030,911	△2,031,700
株主資本合計	42,119,113	41,495,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214,928	319,042
為替換算調整勘定	1,766,040	1,823,666
退職給付に係る調整累計額	△108,331	△100,371
その他の包括利益累計額合計	1,872,637	2,042,337
純資産合計	43,991,750	43,537,824
負債純資産合計	52,760,387	50,587,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	9,635,091	10,340,911
売上原価	3,183,636	3,590,354
売上総利益	6,451,455	6,750,556
販売費及び一般管理費	4,954,643	5,555,345
営業利益	1,496,812	1,195,211
営業外収益		
受取利息	4,048	3,380
受取配当金	7,441	8,687
為替差益	98,404	—
社宅負担金	448	455
補助金収入	27,799	1,829
その他	35,583	8,648
営業外収益合計	173,725	23,001
営業外費用		
持分法による投資損失	36,163	18,265
為替差損	—	31,498
その他	798	1,260
営業外費用合計	36,961	51,024
経常利益	1,633,575	1,167,188
特別利益		
固定資産売却益	232	—
投資有価証券売却益	448	—
特別利益合計	681	—
特別損失		
固定資産除却損	564	1,504
特別損失合計	564	1,504
税金等調整前四半期純利益	1,633,692	1,165,683
法人税、住民税及び事業税	396,153	242,352
法人税等調整額	70,765	41,017
法人税等合計	466,918	283,369
四半期純利益	1,166,773	882,314
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,166,773	882,314

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,166,773	882,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,470	104,113
繰延ヘッジ損益	△68,821	—
為替換算調整勘定	708,068	57,626
退職給付に係る調整額	△2,570	7,960
その他の包括利益合計	622,205	169,700
四半期包括利益	1,788,979	1,052,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,788,979	1,052,014
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは化粧品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」または「処分」といいます。）を行うことを決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分の期日	2023年5月12日
(2) 処分の株式の種類及び株式数	当社普通株式 14,714株
(3) 処分価額	1株につき5,630円
(4) 処分総額	82,839,820円
(5) 株式の割当ての対象者及びその 人数並びに割当てる株式の数	取締役（社外取締役を除く） 6名 10,009株 執行役員 8名 4,705株
(6) その他	本自己株式処分については金融商品取引法による有価証券届出書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、取締役（社外取締役を除く）及び執行役員に譲渡制限付株式を付与するために自己株式の処分を行うことを決議いたしました。

なお、2020年2月12日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議しております。